

<金標準、パウエル FRB 議長 9 月の利下げ示唆・・・>



(出所：オアシス)

USB のアナリストは「米国のマクロ関連リスク、FRB の独立性をめぐる疑問、財政の持続可能性に対する懸念、脱ドル化傾向と中央銀行の買いの増加を支える地政学が見ている」と記載し「私たちの見解では、これらの要因が金価格をさらに上昇させるでしょう」と述べ 2026 年第 3 四半期には NY 金は平均で 3700 ドルになると予想している。

特に週末のワイオミング州国立公園のジャクソンホールで開催された FRB 年次シンポジウムでパウエル FRB 議長は、市場の思惑以上にハト派の発言を行い、9 月 20 日に開催される FOMC において 0.25% の利下げを示唆する内容に思え、市場はリスクオンの動きを強めながら、NY 金は 3423.4 ドルまで高値を試している。ただ市場はこれ以上ないハト派の要因を織り込んだことから利益確定の動きが起こってもおかしくなく、飛び付き買いは避けた方が良いと思える。特に円建ての金標準先物は、円高要因に抑えられており、16200 円を試す可能性は残るも、持続性は後退すると思え、戻り売りには注意した方が良いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り上げながら、シグナルは下げている。RCI は短期が上昇し、長期も切り上げている。特に日足が 10 日移動平均線を超えるも 10 日移動平均線は切り下げており、40 日移動平均線に向けた修正には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 8 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいと、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 79,200 円(2025 年 8 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>